当説明書は本体と合わせてご返却下さい。

Nice Baby
株式会社ベビーリース
〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田 158
TEL 047-392-1234
Aprica

ベビーカー

マジカル エアー

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

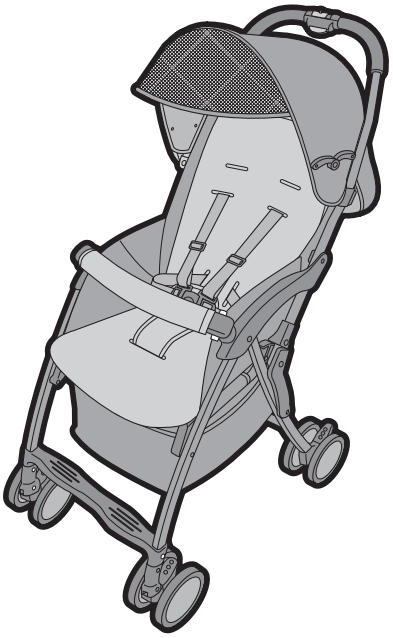
この製品は生後7カ月※～36カ月(体重約15kg)までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後7カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、7カ月を経過した乳児をいいます。

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



SG安全基準B形

目 次

はじめに

ご使用前に …… 1
保護者の方へのアドバイス／SG基準について／本書の表示について
ご使用上の注意 …… 2～4
警告／注意
製品を取り出した時に …… 5
製品の特徴
各部の名称 …… 6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの開き方 …… 7
キャスターの使い方 …… 8
ストッパーの使い方 …… 8
お子さまの乗せ方 …… 9
肩ベルトの高さ調節 …… 11
リクライニングの角度調節 …… 12
日除けの使い方 …… 13
カゴの使い方 …… 13
ベビーカーの折りたたみ方 …… 14

縫製品の取り外し方法

日除けの取り外し方 …… 15
フロントガードカバーの取り外し方 …… 16
シートの取り外し方 …… 17

その他

日常のお手入れ …… 18
困った時 …… 19
保管について …… 20
廃棄について …… 20
SGマーク制度について …… 20
保証とアフターサービスについて …… 21
保証書 …… 22

保護者の方へのアドバイス

赤ちゃんは、大人の縮小版ではありません。
特に新生児期を過ぎて首がすわるまでの赤ちゃんは未熟です。

赤ちゃんのことをよく理解しベビーカーの使用は注意してください。
①常に赤ちゃんの**様子に気を付け、連続使用は避けましょう。**
②赤ちゃんに**直射日光が当たらないように注意しましょう。**
　大人が感じるよりベビーカー内の温度は高くなります。
③騒音や浮遊粉塵の多い**人込みは避けましょう。**
④段差の通過は出来るだけ静かに、**振動・衝撃のかかる道などは避けましょう。**

SG基準について

○SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。（この製品は、SG安全基準B形合格品です。）

適用範囲	この乳母車は、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用の乳母車です。
形式の分類	B形　生後7カ月＊を過ぎおすわりできる時期から使用できる乳母車。
使用範囲	生後7カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	座らせた姿勢：1時間以内
背もたれ角度	100°以上
車輪の外径	115mm以上

＊ここでいう生後7カ月とは、在胎週数37週以上で、かつ出生時の体重が2.5kg以上を満たし、7カ月を経過した乳児をいいます。

本書の表示について

○「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
🛇	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

ご使用上の注意

○思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。

ベビーカーの中でお子さまを立たせない。

お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。

路面の溝にベビーカーの車輪がはまり、前のめりになるなどしてバランスがくずれベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

排水溝の格子状のふた(グレーチング)や踏切など、幅の広い溝がある路面を通過する必要がある時は、溝に車輪がはまる場合があるので、注意しながらゆっくり押すこと。

車輪がはまった時は、前フレーム(パイプ)とハンドルを持って、はまった車輪を引き上げてください。その際はベビーカー全体を持ち上げないでください。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。

お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。

お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。

バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。

〈次ページに続く〉

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが転倒するおそれがあります。

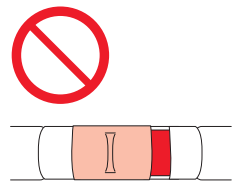
二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。

階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。

ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

ご使用時は、開閉ロックが完全に下まで降りている事を確認する。

必ずハンドルレバーロックをかけた上で使用する。



ベビーカーが後方転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。

路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。

お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。またお子さまの体格に合わせて調節すること。

ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。

ハンドルに過度の荷重をかけない。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。

開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。

フロントガードを閉じる時は、お子さまの指や手足を挟まないように注意すること。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

- お子さまにベビーカーを操作させない。
- お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
- 弊社サービス員以外は分解・組立・改造をしない。
- シートを外した状態で使用しない。
- 急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
- お子さまの遊び道具として使用しない。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- 必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはプラスチック用の潤滑油をご使用ください。
- 長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
- 空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
- ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
- ２台のベビーカーを連結して使用しない。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
- ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方(時速約4キロメートル位の速さ)で押す。
- ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
- フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。
  スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
- ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。
  破損の原因となります。
- カゴに重量5kg以上の荷物を入れない。
- 保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
- 荷物などの運搬のために使用しない。
- その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
- バスの中では使用しないでください。
  本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
- 電車の中での使用について。
  本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、ケガをするおそれがあります。
- 雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
- 風の強い時は使用しない。
- 雷の時は使用しない。
- 室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
- 火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

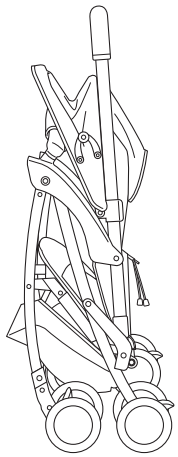
- 段差を乗り越えにくい場合は、お子さまの状態を確かめて転倒されないようにご注意ください。

ハンドルを押し下げ、同時にアームレスト部を
引き上げて乗り越えてください。

製品を取り出した時に

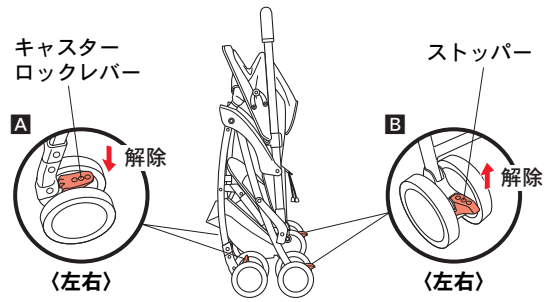
・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)
・ご使用の前に、P22「保証書」に次の項目をご記入ください。
①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
②お買い上げ年月日
③お客様のお名前、住所、電話番号
④販売店名
・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P21参照)

本 体



・箱から取り出した時は折りたたんだ状態です。ベビーカーを開く時はP7を参照してください。

〈製品を取り出した時には〉
A部のキャスターがロックされた状態になっております。
B部のストッパーがロックされた状態になっております。



注意
・ご使用の前にロックを解除してください。(P8参照)

付属品

取扱説明書／保証書(本書)

〈製品の特徴〉

・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
・前後折りたたみ方式です。
・ハンドルは背面側固定式です。
・車体を折りたたんだ状態で自立します。

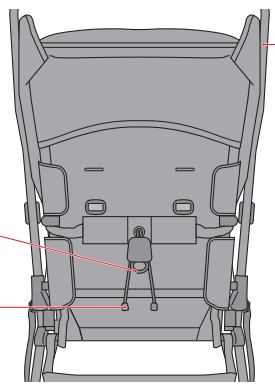
各部の名称

〈シートベルト〉
・シートベルトは、肩ベルトと腰ベルト、股ベルトの総称です。

肩ベルト
腰ベルト
股バックル
股ベルト

日除けメッシュ
日除け
シート
ハンドル
ハンドルレバーロック
ハンドルレバー
日除けレバー
肩ベルト通し穴
アームレスト
開閉ロック
ストッパー
後輪
カゴ
前輪
フロントガードカバー
フロントガード
ステップ
キャスターロックレバー

〈背もたれ背面〉



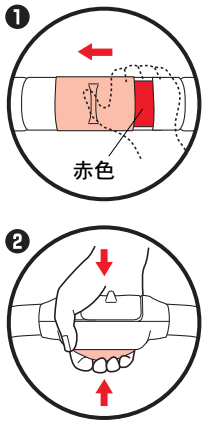
品名・品番
ロット番号シール
〈保証書記入時にご参照ください。〉

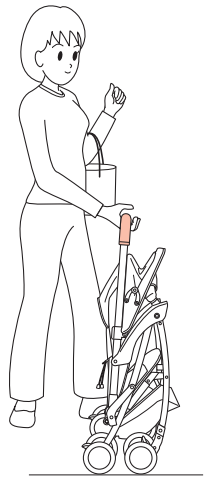
リクライニングリング
リクライニングコード

ベビーカーの開き方

警告
- 開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

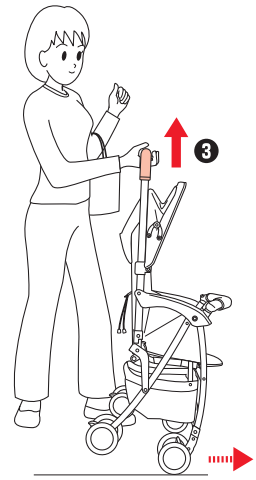
お願い
- 梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。





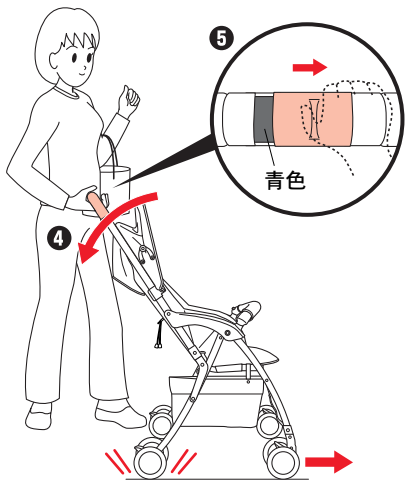
〈ロックの解除〉

❶ハンドルレバーロックを解除する。
（赤色が表示されます。）
❷ハンドルを軽く下に押し付けハンドルレバーを握って押し込み、開閉ロックを解除する。

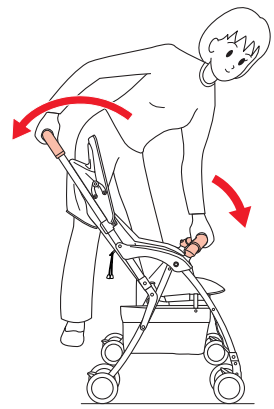


〈開く〉

❸握ったまま、後輪が地面より離れるまで持ち上げる。



❹そのままハンドルを手前に引いて開く。
❺ハンドルレバーロックをかける。（青色が表示されます。）
❻カゴを使用する場合は、面ファスナーを外す。



アドバイス
- 片手で開きにくい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って開いてください。

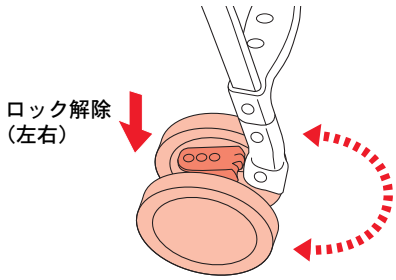
警告
- ご使用時は開閉ロックが完全に下まで降りていることを確認すること。ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。

開閉ロックが降りている状態　開閉ロックが降りていない状態

キャスターの使い方

〈キャスターをロック解除する場合〉

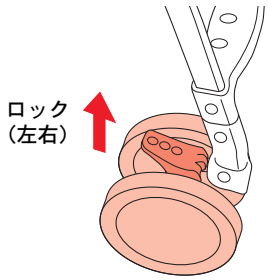
・キャスターを使用すると、平坦な路面では前輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。通常はこの状態でご使用ください。



●キャスターロックレバーを下げ、ロック解除する。（左右）

〈キャスターをロックする場合〉

・凸凹道、坂道、傾斜地などの走行には一時的にキャスターを左右共ロックすると押しやすくなります。



●キャスターロックレバーを上げ、ロックする。（左右）

ストッパーの使い方

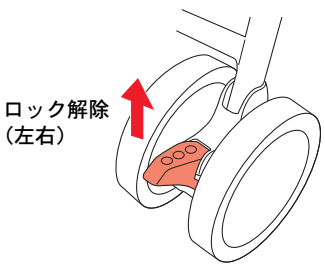
警告

・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーを左右共ロックすること。
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

注意

・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーを左右共ロックしてください。

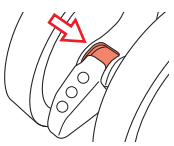
〈ストッパーをロック解除する場合〉



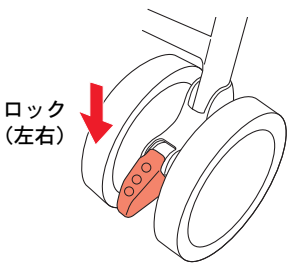
●車輪のストッパーを上げ、ロック解除する。（左右）

注意

・ストッパーを手でロック解除する場合は、矢印の部分で指を挟まないようにご注意ください。



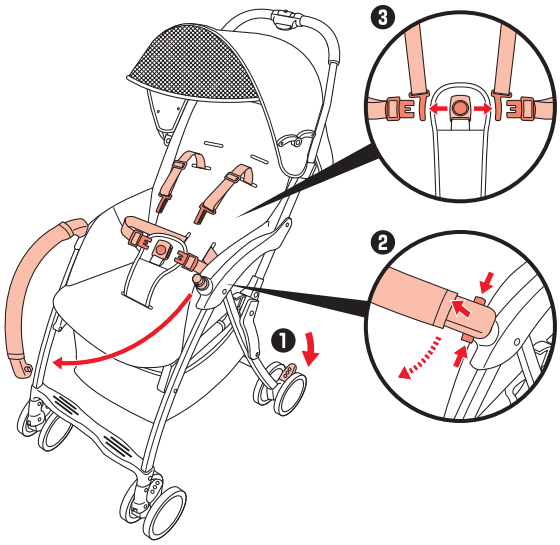
〈ストッパーをロックする場合〉



❶車輪のストッパーを下げ、ロックする。（左右）
❷前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

アドバイス
・ストッパーのロックがかかりにくい時は、ベビーカーを前後させて再度ストッパーを下げ、ロックしてください。

1 準 備

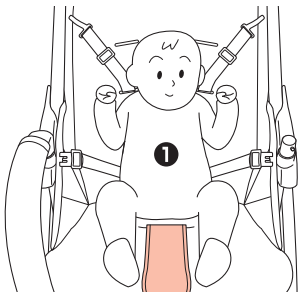


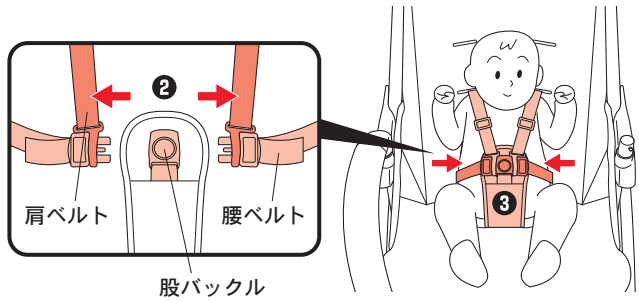
❶ストッパーをロックする。(左右)
❷フロントガードを開く。
・内外のガードボタンを押して開く。
❸肩ベルト、腰ベルトを外す。
・股バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを外す。

・肩ベルト位置を変える時は、P11「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。
・リクライニングの角度を変える時は、P12「リクライニングの角度調節」を参照ください。

2 乗せ方

〈お子さまを乗せて、シートベルトを締める〉





❶お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。

⚠警告
・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
・肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。ベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

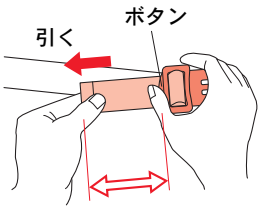
❷肩ベルトを腰ベルトに差し込む。
❸腰ベルトを股バックルに差し込む。
❹左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
※肩ベルトと腰ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P10参照)

アドバイス
・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

3 ベルトの調節

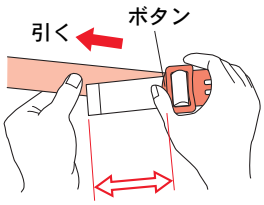
〈腰ベルトの調節〉

〈締める時〉

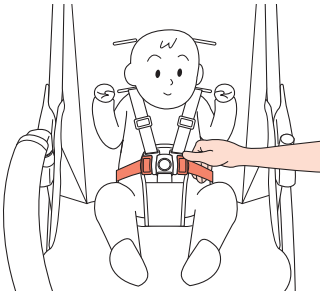


出しろは3cm以上残す

〈緩める時〉



出しろは3cm以上残す

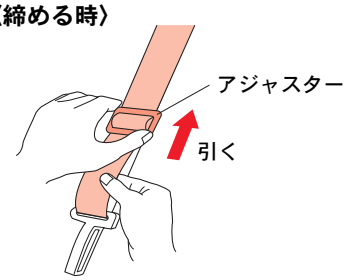


●ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

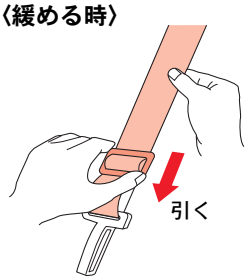
・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

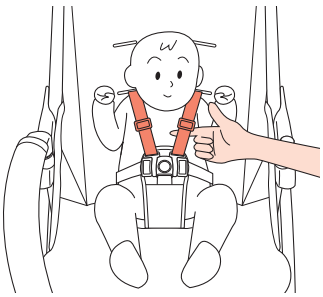
〈肩ベルトの調節〉

〈締める時〉



〈緩める時〉





●アジャスターを引き、長さを調節する。

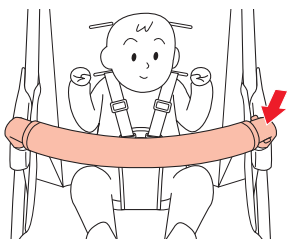
・肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度が適当です。

⚠警告

- 肩ベルト、腰ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
  肩ベルト、腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
- フロントガードを閉じる時にお子さまの指をつめないよう注意すること。
- フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
- お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。
- 腰ベルトの末端の出しろ（⟺部分）は必ず3cm以上残す。
- リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。

4 最後に

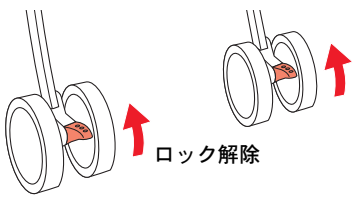
〈フロントガードを閉じる〉



アドバイス

・確実にロックされていることを確認してください。

〈ストッパーをロック解除する〉

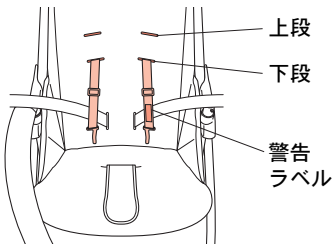


肩ベルトの高さ調節

警告
・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。

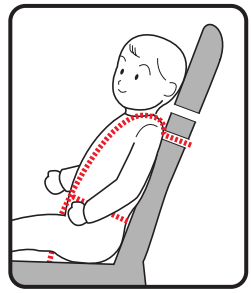
〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



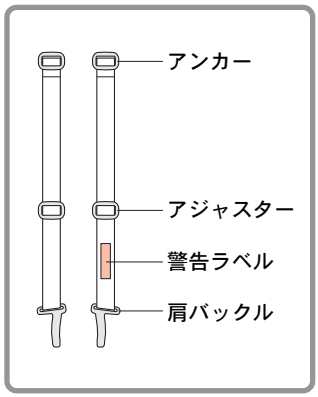
・肩ベルトの位置は以下の2段階に調節してください。

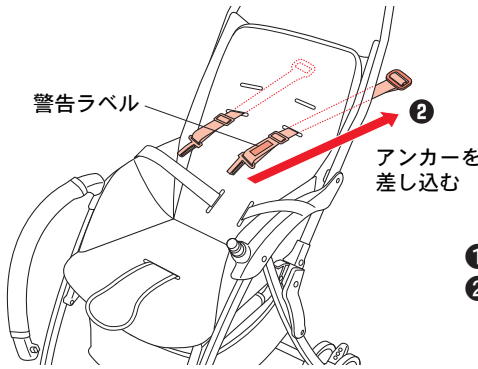
月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月～36カ月	上　段
7カ月～18カ月	下　段

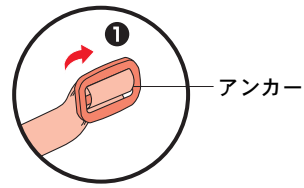
アドバイス
・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表にくるようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

〈肩ベルトの高さ調節のしかた〉

・股バックルから肩ベルト、腰ベルトを外す。(P9「準備❸」参照)

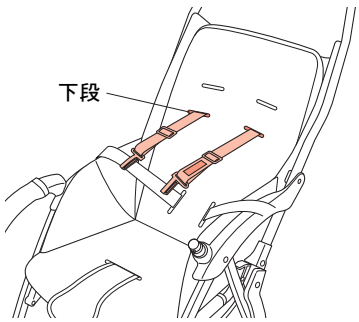




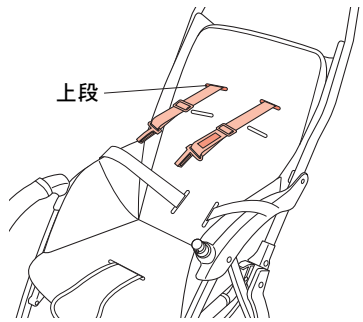


❶肩ベルトのアンカーをひねる。
❷背もたれとシートの肩ベルト通し穴から肩ベルトを抜き差しする。(左右)

〈下段を使用する時〉



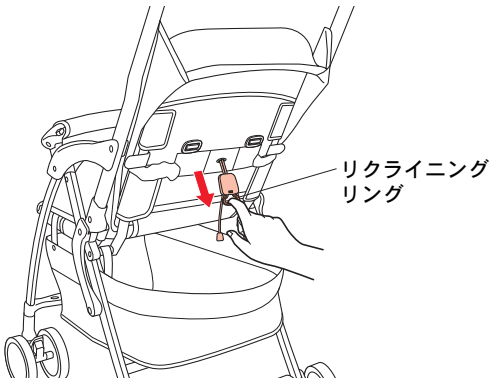
〈上段を使用する時〉

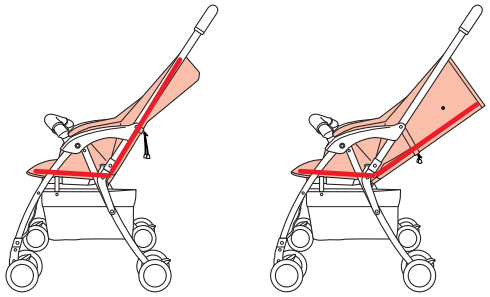


❸肩ベルトを使用する段に通す。(左右)

リクライニングの角度調節

背もたれを倒す時





❶肩ベルトをゆるめる。(P10参照)
❷片方の手でお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。
❸リングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。
❹肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。

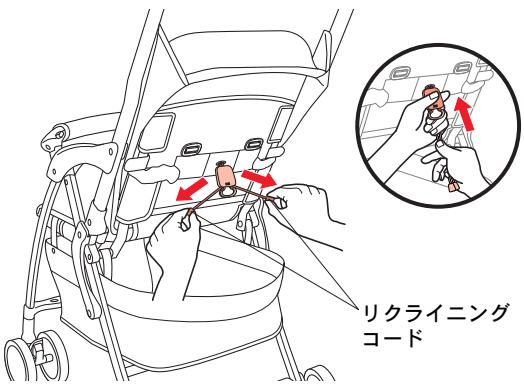
警告

- お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
- リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルトの長さを調節する。肩ベルトや腰ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。

注意

- ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
- お子さまを乗せたままリクライニング調節する時は、急に角度が変わらないよう注意する。
- お子さまを乗せたまま背もたれを倒す時は、お子さまの体重を支える。
- ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

背もたれを起こす時



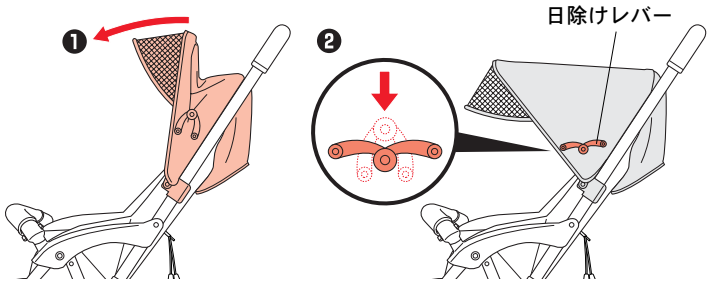
●お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。

アドバイス
- お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

日除けの使い方

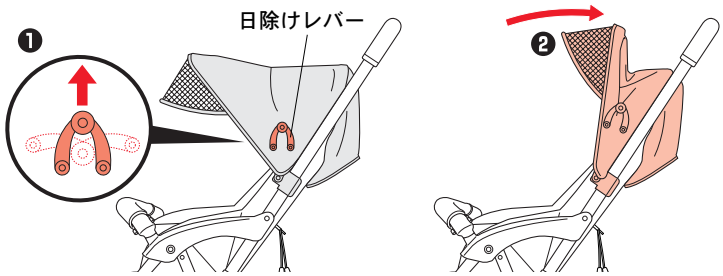
警告
・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。
可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

開き方



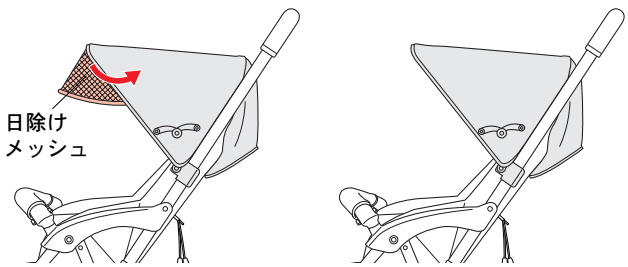
❶日除けを前方に開く。
❷日除けレバーをロックする。(左右)

閉じ方



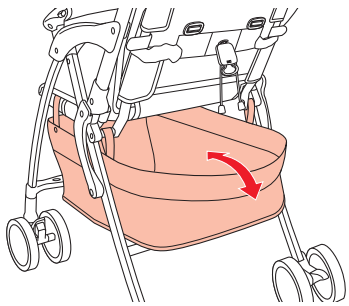
❶日除けレバーを折りたたむ。(左右)
❷日除けを閉じる。

日除けメッシュの収納方法



・日除けメッシュを日除け内側に折りたたむ。

カゴの使い方



・カゴの上部から荷物の出し入れをする。

アドバイス
・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

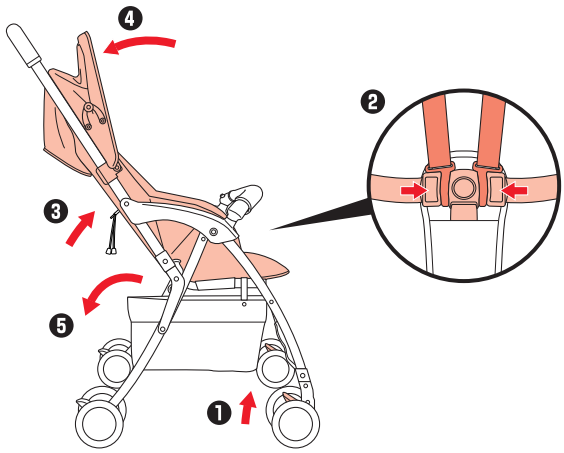
注意
・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。
カゴが損傷することがあります。
・重量5kg以上の荷物を入れない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。

ベビーカーの折りたたみ方

警告
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

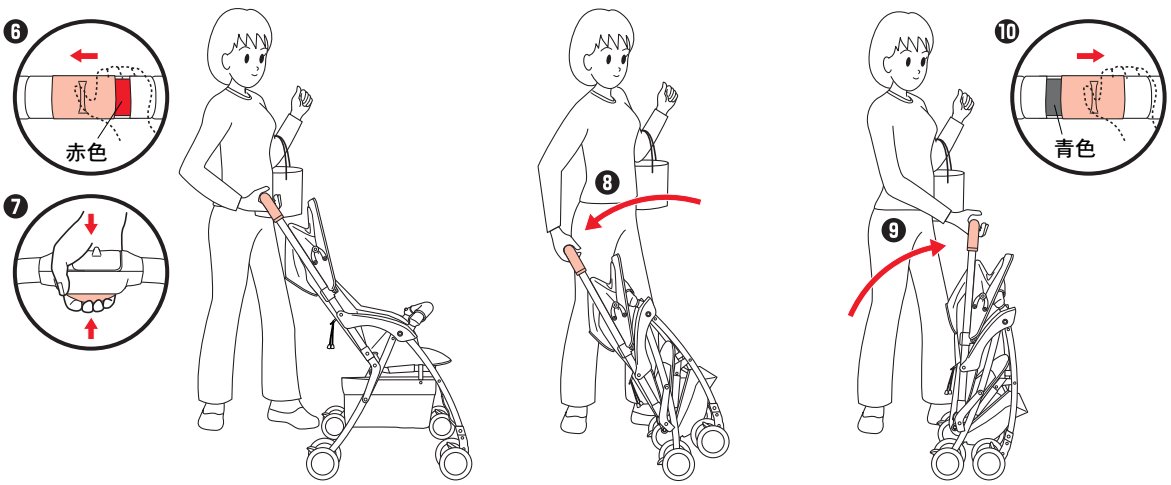
注意
・肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込んでからベビーカーを折りたたむこと。
バックルが破損するおそれがあります。

お願い
・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。
2～3回繰り返して操作してください。



〈折りたたむ前に〉

❶キャスターをロックする。(P8参照)
❷肩ベルト、腰ベルトを股バックルに差し込む。(P10参照)
❸背もたれを起こす。(P12参照)
❹日除けを閉じる。(P13参照)
❺カゴから荷物を取り出す。



〈ロックの解除〉

❻ハンドルレバーロックを解除する。
❼ハンドルレバーを握って押し込み、ロックを解除する。

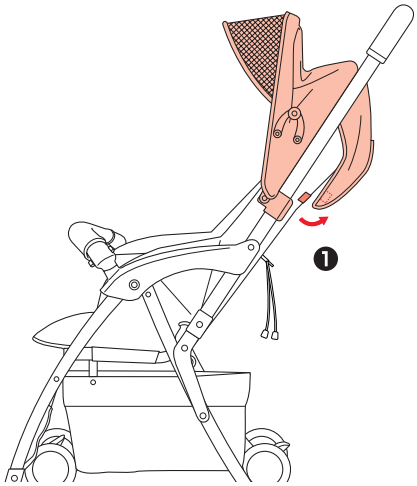
〈折りたたむ〉

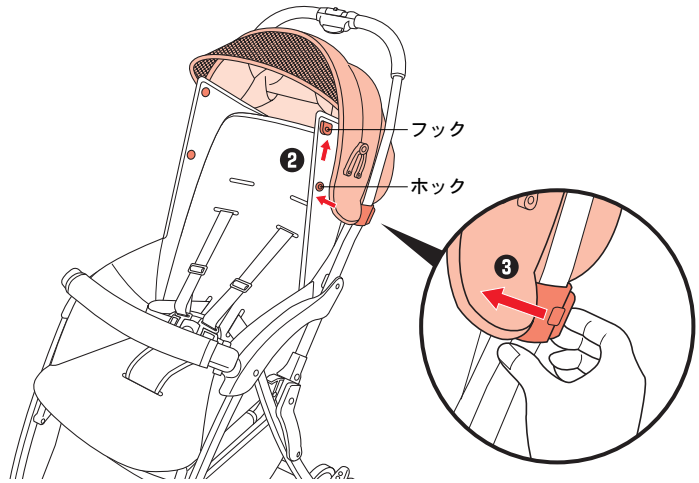
❽握ったまま、車体を後ろに傾け、折りたたむ。
❾車体を起こす。
❿ハンドルレバーロックをかける。

アドバイス
・片手で折りたためない場合は、もう一方の手でフロントガードを持って折りたたんでください。

日除けの取り外し方

取り外し方

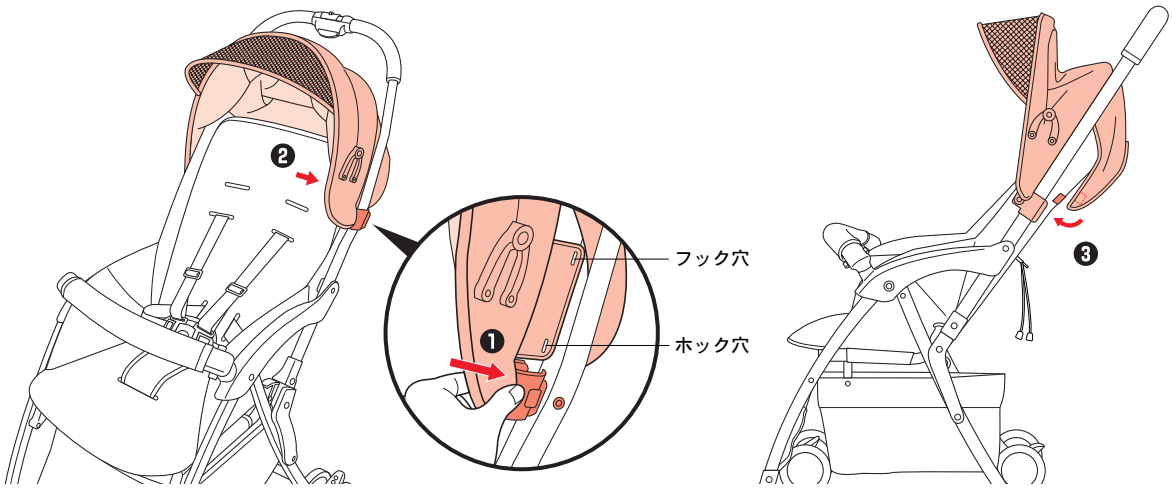




❶日除け後部の面ファスナーを外す。

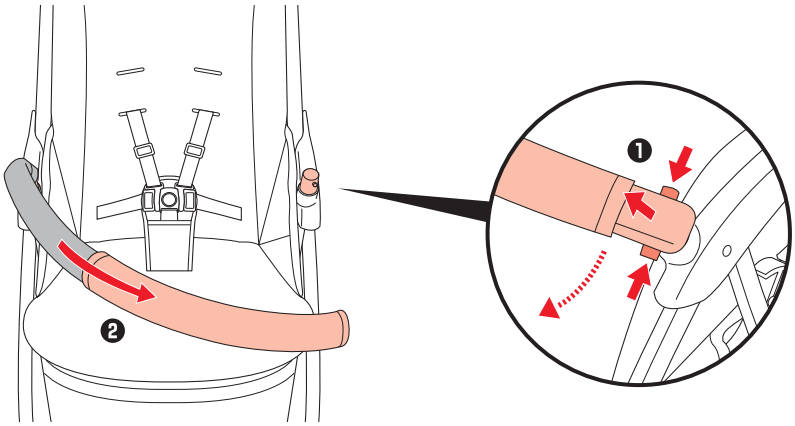
❷シート横側のホックを外し、フックを上方向に抜く。(左右)
❸日除けブラケットを手前に引き、取り外す。(左右)

取り付け方



❶日除けブラケットを突起部分に合わせて押し込み、取り付ける。(左右)
❷日除けのフック穴にシート横側のフックを通しハンドル横側のフックにとめる。
日除けのホック穴をハンドル横側のホックに通しシート横側のホックでとめる。
(左右)
❸日除け後部の面ファスナーをとめる。

フロントガードカバーの取り外し方



❶フロントガードを開く。
・内外のガードボタンを押して開く。

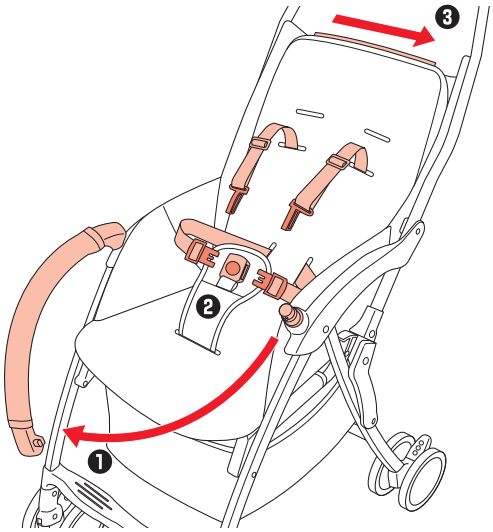
❷フロントガードカバーを抜き取る。

シートの取り外し方

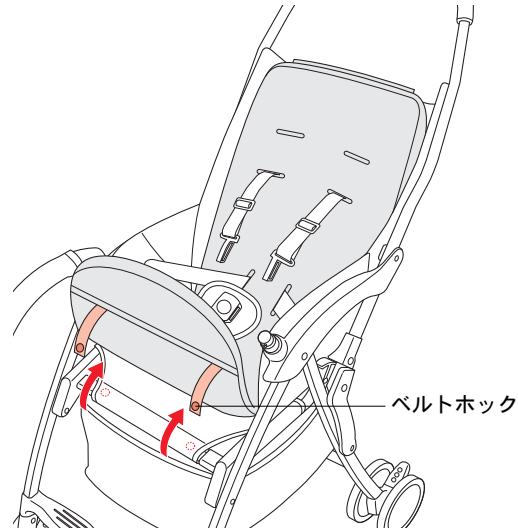
警告

・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

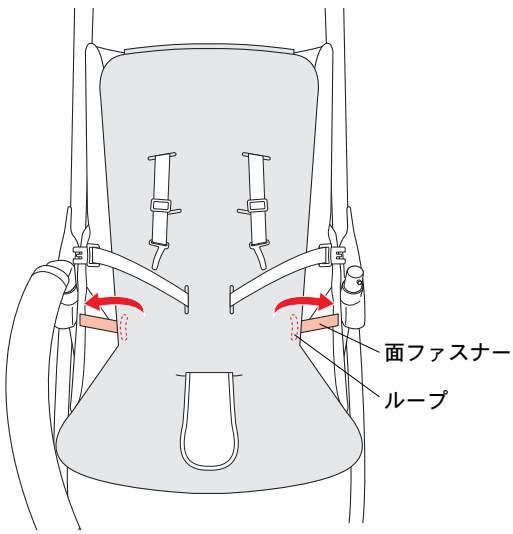
お願い ・シート本体の取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。



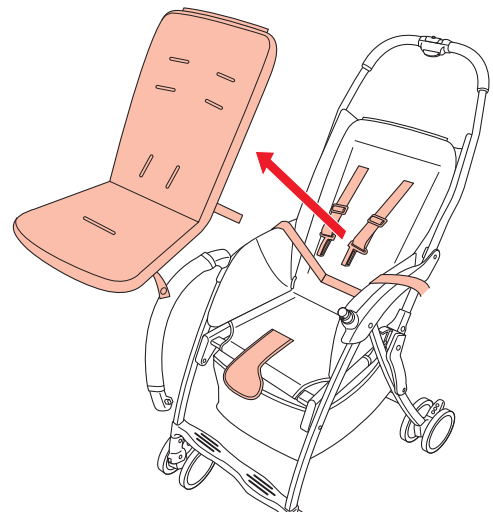
❶フロントガードを外す。
❷股バックルを押し、肩ベルト、腰ベルトを外す。
❸ファスナーを開く。



❹シート座面裏側のベルトホックを外す。(左右)



❺シート座面裏側(後側)の面ファスナーをループから外す。(左右)



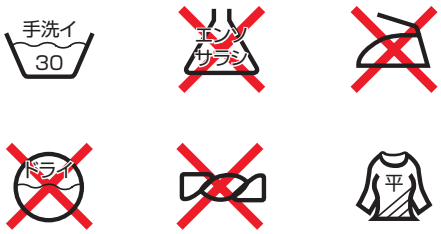
❻肩ベルト、股ベルト、腰ベルトを引き抜き、シートを取り外す。

・取り付けは逆の手順を行ってください。

縫製品の洗浄方法

〈シート、フロントガードカバーの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



注意
- 座ベースは取り外しできません。
- 縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- 使用の際に、濃色繊維については、若干の色落ちがある場合があります。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●**水溶性の汚れ**（果汁、ヨダレ、オシッコなど）**の場合**
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●**非水溶性の汚れ**（牛乳、油脂、マヨネーズなど）**の場合**
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

・縫製品は消耗品です。破れ、すり切れ、ほつれなどがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせの上、交換してください。（有償）

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

注意
- フレームや車輪に泥やホコリが付いたままで使用しない。故障の原因となります。
- 泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しない。

・車輪は消耗品です。タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は、弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせの上、交換してください。（有償）

〈ネジ・ナット類について〉

・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合はしめなおしてください。

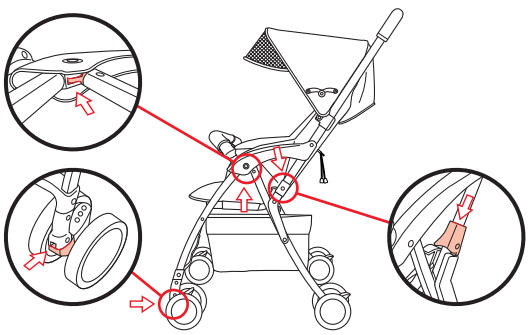
〈フロントガードについて〉

・フロントガード差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

〈注油について〉

・注油の前には、泥やほこりを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
・注油は、1カ所につき2～3滴としてください。

注意
- フロントガードとアームレストの接続部付近及び内部には、潤滑油などを付着させない。
フロントガードが外れ、お子さまが危険になるおそれがあります。



●車体を折りたたんだり、開くのがスムーズにいかない場合や、キャスターがスムーズに回転しなかったり、車輪や車体がきしむ場合は、市販の潤滑油を図の ⇨ の箇所にさし、開閉操作を2～3回行います。

困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)

〈ご使用中に困った時〉

お気づきの点	対処方法
前輪キャスターが回転しない時は	キャスターのロックを左右共解除してください。 (P8参照)
前輪キャスターの回りが悪い時は	キャスターに潤滑油をさしてください。 (P18参照)
ストッパーがきかない時は	ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
リクライニングが起こせない時は	お子さまをベビーカーからおろして、リクライニングコードを引いてください。(P12参照)
肩ベルトが腰ベルトに差し込めない時は	衣類などの生地やシートベルトが挟まっていないか確認してください。
ベビーカーが折りたためない時は	〈折りたたむ前に〉〈ロックの解除〉を行ってから折りたたんでください。 (P14参照) 開閉ロック部分にシートベルトが挟まっていないか確認してください。
タイヤが消耗した時は	タイヤの厚みが5mm程度にまで減った時は交換が必要です。 弊社お客様サポートセンターに連絡してください。(P21参照)

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック(ひび割れ)や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保管について

・本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

注意
・日除けの変形を防ぐため、横向きに寝かせたり、上に荷物を置いたりしないでください。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。
プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

・お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について

SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。
ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意
SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合
事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。（原則として60日以内）

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2－20－2　ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL　03－5808－3300

〈事故の届出に必要な項目〉
①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

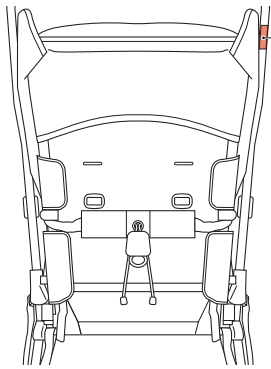
〈保証について〉

・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

〈アフターサービスについて〉

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（下図参照）をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ハンドル背面側シールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター　TEL **0120−415−814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合もありますのであしからずご了承ください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社
〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター　TEL 0120-415-814　携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）　TEL 0570-004-155

16-02　PD348867A